

報せをきいて、暗澹たる気持ちです。

私たち後から歩く者の足元が急に暗くなった思いです。

どんな舞台もエネルギーと魂のありったけをかけて、演じられて、稽古場ではスタッフも共演者も、皆が、憧れと畏敬の思いで、ただただ、みとれておりました。

私は 2000 年に上演された、蜷川幸雄さん演出の「グリークス」という九時間に及ぶギリシャ悲劇で、平さんが「アガ멤ノン」、私が「クリテムネストラ」という夫婦の役でご一緒させていただきました。平さんは「メデイア」など、恐ろしい女を美しく演じるのがお得意で、「ギリシャ劇は、女の方が素敵なんだよねー」と私のクリテムネストラの役をご所望のようでした。それ以後、日々のご挨拶などで、小さなタメ口もきくようになりました。二人で共演出来るものを、なにか、探しましょうと話し合っていたのに、実現できずに、とても悔やまれます。

深く深くお悔やみ申し上げます。

2016 年 10 月 24 日

白石加代子